

COUNT DOWN 閉校まであと 738日

校長閑話「七中の歴史を振り返って」

去る9日（土）に卒業をした42名の3年生は平成15年・16年の生まれです。平成15年は地デジ放送が開始され、平成16年は惜しまれつつ引退表明をしたシアトルマリナーズのイチロー選手が年間262本の安打で米大リーグの新記録を達成した年でもありました。

全校生徒は平成15年には174名、そして平成16年には156名が在籍し、いづれの年も各学年2学級づつありました。ちなみに最も生徒数が多かったのは平成14年の191名で、これは現在の銚子一中と同数となります。

さて、いよいよ閉校に向けて残すところ738日となりますが、この限られた日々の中で本校の存在（足跡）を様々な形で大いに示していきたいと考えております。その一環として、地域の方や卒業生の方に目に触れてもらえるよう正門左フェンスに横断幕を掲げました。

「ありがとう七中 そしてすばらしい仲間たち 私たちは決して忘れない」

感謝の気持ちを胸に、いつまでも七中での良き思い出を忘れないでいよう。という思いや願いが込められています。近くにお立ち寄りの際にはぜひご覧ください。



3月を振り返って

- ・1日（金）午後、3年生を送る会が開催されました。1学年、2学年ともに工夫を凝らした大変感動的な演劇形式の発表でした。限られた時間の中での練習でしたが、素晴らしい演技に来場された保護者の方々からは沢山の拍手を頂きました。3年生は自らを演じてくれた後輩の演技に恥ずかしさもあったようですが、その熱演に大きな笑いを誘っていました。最後は3年生による聴き応えのある美しい合唱での返礼としました。
- ・9日（土）第72回卒業証書授与式が挙行されました。平成最後の卒業生として一人ひとりが義務教育9年最後の卒業証書を手にし、本校を巣立っていきました。「ゴール無限」自らの可能性を信じて、様々なことにチャレンジしてもらいたいものです。

銚子七中 サポートーズチーム発足

保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力の下、無事平成30年度を終えることができました。大変感謝しております。有難うございました。次年度も銚子七中は力強くジャンプアップしてまいります。よろしくお願いいたします。

さて、次年度は本校を地域の方々に更に身近な存在として、愛着を持って頂くために、学校の開放を積極的に進めてまいります。その第一弾はサポートーズチームです。残された僅かな日々において、地域の方々、卒業生、保護者、職員そして在校生とともに本校にもっと多くの足跡を残していきたいと考え、サポートーズを結成することとしました。最後の2年間で輝かしい本校のエンディングのサポートをお願いしたいと考えています。サポートの内容や期間（1日や1時間でも可能）は不問です。内容については以下のことを検討中です。

【活動例】

- ・環境整備（草刈・樹木の剪定・花植え等）
- ・地域伝統文化の紹介（例：茶道、華道、日舞、和洋楽器等）
- ・学校行事での生徒との交流
- ・学習支援（放課後・長期休業中）

なお詳細については、4月以降HPや学校だよりに掲載予定です。



